

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-195223
(P2000-195223A)

(43)公開日 平成12年7月14日(2000.7.14)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 1 1 B 23/38		G 1 1 B 23/38	A
23/40		23/40	B

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平10-370853

(22)出願日 平成10年12月25日(1998.12.25)

(71)出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(71)出願人 591186888

トッパンレーベル株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72)発明者 桐井 孝尚

東京都台東区台東1丁目5番1号 トッパ
ンレーベル株式会社内

(72)発明者 伊藤 善之

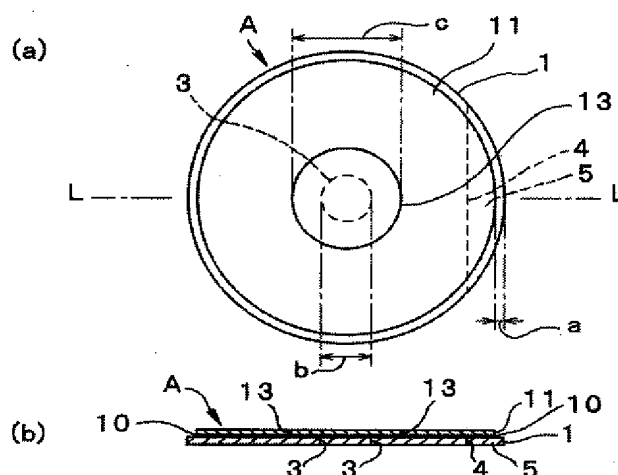
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印
刷株式会社内

(54)【発明の名称】 ディスク用ラベル

(57)【要約】

【課題】ラベル貼着装置や位置合わせ用キットを使用せずに従来よりもより正確且つ簡単に位置合わせをしながらディスクの中心位置から外れないように正確に貼着できるディスク用ラベルを提供する。

【解決手投】情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズの円形状のラベルシート11と、その裏面に設けられた粘着剤層10と、該粘着剤層10に易剥離可能に仮貼着された円形状のラベルシート11と略同一平面形状サイズ又はそれより僅かに大径サイズの易剥離シート1とにより構成された情報記録ディスク用ラベルにおいて、易剥離シート1にディスク中心軸孔形成用カッティング3が刻切され、円形状のラベルシート11に該軸孔形成用カッティング3より大径の円形状のカッティング13が刻切されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズの円形状のラベルシート11と、その裏面に設けられた粘着剤層10と、該粘着剤層10に易剥離可能に仮貼着された円形状のラベルシート11と略同一平面形状サイズ又はそれより僅かに大径サイズの易剥離シート1とにより構成された情報記録ディスク用ラベルにおいて、易剥離シート1にディスク中心軸孔形成用カッティング3が刻切され、円形状のラベルシート11に該軸孔形成用カッティング3より大径の円形状のカッティング13が刻切されていることを特徴とするディスク用ラベル。

【請求項2】請求項1記載のディスク用ラベルであって、前記易剥離シート1に円形状のラベルシート11より該易剥離シート1の一部領域を剥離するための切離用カッティング4が刻切されていることを特徴とするディスク用ラベル。

【請求項3】ラベルシート11と、その裏面に設けられた粘着剤層10と、該粘着剤層10に易剥離可能に仮貼着された易剥離シート1とにより構成されラベル用基材Sの前記易剥離シート1に、情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズ又はそれより僅かに大径サイズの円形状のカッティング2と、ディスク中心軸孔形成用カッティング3とが刻切され、前記ラベルシート11に、情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズの円形状のカッティング12と、前記軸孔形成用カッティング3より大径の円形状のカッティング13が刻切されていることを特徴とするディスク用ラベル。

【請求項4】請求項3記載のディスク用ラベルであって、情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズ又はそれより僅かに大径サイズの円形状の前記カッティング2領域内の前記易剥離シート1に、円形状のラベルシート11より該易剥離シート1の一部領域を剥離するための切離用カッティング4が刻切されていることを特徴とするディスク用ラベル。

【請求項5】請求項4記載のディスク用ラベルであって、該ラベルを1単位として、その複数単位が前記ラベル用基材Sにカッティング形成されていることを特徴とするディスク用ラベル。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、LD、CD、MD、CD-MOなど光学式ディスクや光磁気ディスクなどの情報記録用の円形ディスクの片面に、表題、記録内容説明、製造・販売者名などを表示するためのディスク用ラベルに関する。

【0002】

【従来の技術】一般に情報記録（再生）用の光学式ディスクや光磁気ディスクには、表題、記録内容説明、製造・販売者名などを表示するためのラベルが貼着されてい

る。

【0003】この光学式ディスクや光磁気ディスクに貼着されるディスク用ラベルは、回転ムラが発生しないように円形ディスクの中心位置に正確にラベルを貼る必要があり、そのため、正確に貼着できるように従来はラベル貼着装置を使用して自動的に貼着を行っていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ラベル貼着装置を使用して貼着する場合には、ラベルをディスク中心に位置合わせするためのラベル貼着装置専用の位置合わせ用キット（Kit）などを設置して行う必要があり、また、位置合わせ用キットに沿ってラベルを貼り込む場合には、ラベルをラベル台紙（易剥離シートなど）から完全に剥がした後に貼り込む必要があるため、その時点でずれが発生する場合があった。

【0005】本発明は、従来のようなラベル貼着装置や位置合わせ用キットを使用せずに、従来よりもより正確に且つ簡単に位置合わせをしながら、ディスクの中心位置から外れないように正確に貼着できるディスク用ラベルを提供するものである。

【0006】

【課題を解決するための手投】本発明の請求項1に係る発明は、情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズの円形状のラベルシート11と、その裏面に設けられた粘着剤層10と、該粘着剤層10に易剥離可能に仮貼着された円形状のラベルシート11と略同一平面形状サイズ又はそれより僅かに大径サイズの易剥離シート1とにより構成された情報記録ディスク用ラベルにおいて、易剥離シート1にディスク中心軸孔形成用カッティング3が刻切され、円形状のラベルシート11に該軸孔形成用カッティング3より大径の円形状のカッティング13が刻切されていることを特徴とするディスク用ラベルである。

【0007】次に本発明の請求項2に係る発明は、上記請求項1に係る発明のディスク用ラベルであって、前記易剥離シート1に円形状のラベルシート11より該易剥離シート1の一部領域を剥離するための切離用カッティング4が刻切されていることを特徴とするディスク用ラベルである。

【0008】次に本発明の請求項3に係る発明は、ラベルシート11と、その裏面に設けられた粘着剤層10と、該粘着剤層10に易剥離可能に仮貼着された易剥離シート1とにより構成されラベル用基材Sの前記易剥離シート1に、情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズ又はそれより僅かに大径サイズの円形状のカッティング2と、ディスク中心軸孔形成用カッティング3とが刻切され、前記ラベルシート11に、情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズの円形状のカッティング12と、前記軸孔形成用カッティング3より大径の円形状のカッティング13が刻切されていることを特徴と

するディスク用ラベルである。

【0009】次に本発明の請求項4に係る発明は、上記請求項3に係る発明のディスク用ラベルであって、情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズ又はそれより僅かに大径サイズの円形状の前記カッティング2領域内の前記易剥離シート1に、円形状のラベルシート11より該易剥離シート1の一部領域を剥離するための切離用カッティング4が刻切されていることを特徴とするディスク用ラベルである。

【0010】次に本発明の請求項5に係る発明は、上記請求項4に係る発明のディスク用ラベルであって、該ラベルを1単位として、その複数単位が前記ラベル用基材Sにカッティング形成されていることを特徴とするディスク用ラベルである。

【0011】

【発明の実施の形態】本発明のディスク用ラベルを、発明の実施の形態にしたがって以下に詳細に説明する。

【0012】図1(a)は本発明の請求項1又は2に係るディスク用ラベルAを説明する平面図、図1(b)はそのL-L側断面図であり、円形の易剥離シート1上に粘着剤層10を介して円形状のラベルシート11が仮貼

着されている。
【0013】請求項1に係るディスク用ラベルAについて説明すれば、易剥離シート1の表面には、必要に応じて易剥離剤(例えばシリコーン樹脂、パラフィン、ワックスなど)が塗布されて易剥離層が形成され、円形状のラベルシート11には、粘着剤層10が塗布形成されていて、易剥離シート1は、円形状のラベルシート11の粘着剤層10に易剥離可能に仮貼着されている。なお、前記易剥離シート1、ラベルシート11のそれぞれ材料

には、アート紙、コート紙などの紙シート、樹脂製の合成紙シート、あるいは不織布シート、アルミ箔シート、金属蒸着した樹脂フィルムやシートなどが使用できる。
【0014】円形状のラベルシート11は、LD、CD、MD、CD-MOなど光学式ディスクや光磁気ディスクなどの情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズであって、その裏面に仮貼着された易剥離シート1は、円形状のラベルシート11と略同一平面形状サイズか、又はそれより僅かにaだけ大径サイズに張り出して

おり、特に張り出しサイズaの値は限定されないが、例えば、a=1~5mm程度が適当である。
【0015】図1(a)、(b)に示すように、前記易剥離シート1には、易剥離シート1側から、少なくとも粘着剤層10と円形状のラベルシート11との界面に到達するまで、ディスク中心軸孔を形成するための直径bの軸孔形状のカッティング3が軸孔形状の所定のカッティング刃により刻切されている。

【0016】また、円形状のラベルシート11には、該ラベルシート11側から、少なくとも粘着剤層10と易剥離シート1との界面に到達するまで、該軸孔形成用の

カッティング3よりも大径の直径cの円形カッティング13が所定のカッティング刃により刻切されている。この円形カッティング13の直径cは、少なくともディスク中心軸孔を形成するためのカッティング3の直径bよりも大径に設定され、例えば25mm~30mm前後であり、例えばコンパクトディスクやミニディスクなどのディスクの中央部のディスク軸孔回りにある非記録領域における円形状の僅かに高い段差部の直径に略等しく設定される。

【0017】請求項2に係るディスク用ラベルについて説明すれば、図1(a)、(b)に示すように、前記易剥離シート1には、その易剥離シート1側から、その円形外周の1個所から他の1個所に亘って、例えば、直線状の切離用カッティング4が刻切されていて、図示するように、該易剥離シート1の一部領域5を円形状のラベルシート11より剥離することができるようになっている。

【0018】図2(a)は本発明の請求項3、4、5に係るディスク用ラベルAを説明する平面図、図2(b)はそのL-L側断面図であり、このディスク用ラベルAは、易剥離シート1と粘着剤層10を塗布したラベルシート11とを、その粘着剤層10を介して仮貼着したラベル用基材Sにより構成されている。

【0019】請求項3に係るディスク用ラベルAを説明すれば、このラベル用基材Sの易剥離シート1には、易剥離シート1側から、少なくとも粘着剤層10とラベルシート11との界面に到達するまで、情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズ又はそれより僅かに大径サイズのカッティング2と、ディスク中心軸孔形成用カッティング3とが、所定のカッティング刃により刻切されている。

【0020】また、ラベルシート11には、該ラベルシート11側から、少なくとも粘着剤層10と易剥離シート1との界面に到達するまで、LD、CD、MD、CD-MOなど光学式ディスクや光磁気ディスクなどの情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズの円形状のカッティング12と、前記ディスク中心軸孔形成用カッティング3より大径の円形カッティング13が、所定のカッティング刃により刻切され、前記カッティング12は、円形状のラベルシート11を形成するためのカッティングラインである。

【0021】本発明の請求項3に係るディスク用ラベルAは、図2(a)、(b)に示すように、ラベル用基材Sを、その易剥離シート1側からカッティングしたカッティング2、3と、ラベルシート11側からカッティングしたカッティング12、13とにより構成されるディスク用ラベルAであり、これを1単位のディスク用ラベルAとしてカッティング形成されているものである。

【0022】本発明の請求項4に係るディスク用ラベルAは、上記請求項3に係るディスク用ラベルAであっ

て、図2(a)、(b)に示すように、LD、CD、MD、CD-MOなど光学式ディスクや光磁気ディスクなどの情報記録用円形ディスクと略同一平面形状サイズ又はそれより僅かに大径サイズの前記カッティング2領域内の易剥離シート1に、その易剥離シート1側から、その円形外周の1個所から他の1個所に亘って、例えば直線状の切離用カッティング4が刻切されていて、図示するように、該易剥離シート1の一部領域5を円形状のラベルシート11より剥離することができるようになって

いるものである。なお、前記易剥離シート1、ラベルシート11のそれぞれ材料には、アート紙、コート紙など紙シート、樹脂製の合成紙シート、あるいは不織布シート、アルミ箔シート、金属蒸着した樹脂フィルムやシートなどが使用できる。

【0023】本発明の請求項5に係るディスク用ラベルAは、上記請求項3又は請求項4に係る発明のディスク用ラベルであって、ラベル用基材Sに、この1単位のディスク用ラベルAを複数単位カッティング形成して、複数

のディスク用ラベルAを配列(多面付け)したものである。

【0024】図3(a)～(f)は、本発明の上記ディスク用ラベルAにおいて、その円形状のラベルシート11に仮貼着されている円形状の易剥離シート1に形成される切離用カッティング4の各種形態を説明するディスク用ラベルAの平面図であって、本発明はこれらの形態に限定されるものではない。

【0025】例えば図3(a)は、円形状の易剥離シート1の円形外周の1個所から他の1個所に亘って、直線状に切離用カッティング4を刻切したものである。

【0026】また図3(b)は、円形状の易剥離シート1の円形外周の1個所から他の1個所に亘って、ディスク中心軸孔形成用カッティング3と接触(又は交差)するように、切離用カッティング4を該カッティング3領域内を除外して直線状に刻切したものである。

【0027】また図3(c)は、ディスク中心軸孔形成用カッティング3の中心を通るように直線状に切離用カッティング4を該カッティング3領域内を除外して刻切したものである。

【0028】なお、上記図3(a)～(c)の各種切離用カッティング4のライン形状は直線状に限定されるものではなく、曲線、屈曲線などであってもよい。

【0029】図3(d)は、円形状の易剥離シート1の円形外周の1個所から他の1個所に亘って扇形状に、ディスク中心軸孔形成用カッティング3と接触しないように切離用カッティング4を刻切したものである。

【0030】また、図3(e)は、円形状の易剥離シート1の円形外周の1個所から他の1個所に亘って、略平行な2本の切離用カッティング4、4を刻切したものである。

【0031】また、図3(f)は、円形状の易剥離シ

ート1の円形外周の1個所から他の1個所に亘って扇形状に、ディスク中心軸孔形成用カッティング3と接触するように切離用カッティング4を刻切したものである。

【0032】次に、本発明のディスク用ラベルAをディスク本体の片面に貼着する方法の一例を、図4(a)～(f)に基づいて下記に順序を追って説明する。

【0033】まず、図4(a)、本発明の図1(a)、(b)に示すディスク用ラベルA、又は図2(a)、(b)に示すラベル基材Sから易剥離シート1側の円形状のカッティング2に沿って切り離された本発明のディスク用ラベルAを用意する。このディスク用ラベルAは、LD、CD、MD、CD-MOなど光学式ディスク、又は光磁気ディスクのそれぞれ形状サイズに対応して製造されている。

【0034】続いて、図4(b)、円形状のラベルシート11に形成された円形状カッティング13に沿って該カッティング13領域内のラベルシート11aを、円形状の易剥離シート1より剥離するとともに、該ラベルシート11aの裏面に粘着剤10aを介して仮接着しているカッティング3領域内の易剥離シート1aを、ディスク中心軸孔形成用カッティング3に沿って円形状の易剥離シート1より切り離す。14はラベルシート11aと易剥離シート1aとによる剥離した剥離シートである。

【0035】これにより、ディスク用ラベルAには、円形状の易剥離シート1にはディスク中心軸孔16が形成され、円形状のラベルシート11には中心軸孔16より大径の窓孔部15が形成される。

【0036】続いて、図4(c)、ディスク用ラベルAの中心軸孔16を、LD、CD、MD、CD-MOなど光学式ディスク、又は光磁気ディスクDを固定支持するラベル貼着用の平坦な支持板21に垂直に突設されたディスク固定支軸22に嵌着固定し、ディスク用ラベルAをディスクDに対して位置決めする。なお、前記支持板21は、ディスクDを収納する収納ケースの平坦な収納支持板21(例えば収納ケース底板部)であってもよく、その収納支持板21に垂直に突設したディスク固定支軸22に嵌着固定して位置決めしてもよい。また、前記ディスク固定支軸22はディスク記録・再生用の駆動回転支軸であってもよい。

【0037】続いて、図4(d)、ディスク用ラベルAの円形状の易剥離シート1に形成されている切離用カッティング4に沿って円形状の易剥離シート1の外周端部にある部分剥離部5を剥離する。

【0038】続いて、図4(e)、前記ディスク用ラベルAの部分剥離部5を剥離した部分における円形状のラベルシート11の一端下面を、その裏面にある粘着剤層10によってディスクD面に貼着して、該ラベルシート11をディスクDの上面に貼着して固定する。

【0039】続いて、同図4(e)、前記ディスク用ラベルAの円形状のラベルシート11をディスクDの上面

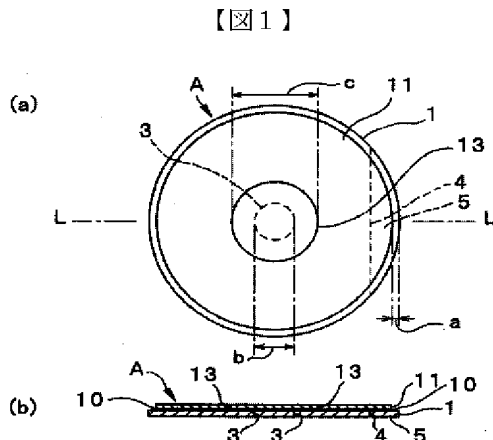
に貼着して固定した状態で、該ディスク用ラベルAの部分剥離部5と対向する他端部を持ち上げて、支軸22よりラベルシート11の中心軸孔16を一旦外し、該ディスク用ラベルAの前記他端部を持ち上げた状態で、ラベルシート11の下面に仮貼着している全ての易剥離シート1を剥離除去する。

【0040】続いて、図4(f)、前記ディスク用ラベルAの易剥離シート1を除去した円形状のラベルシート11の前記他端部をディスクDの上面に下ろしながら、該ラベルシート11の中心軸孔16を支軸22に再度嵌着して、該ラベルシート11をディスクDの上面に重ね合わせて、粘着剤層10により全面貼着する。

【発明の効果】本発明のディスク用ラベルは、ラベル貼着装置や位置合わせ用キットを使用せずに、従来よりもより正確に且つ簡単に位置合わせをしながら、ディスクの中心位置から外れないように正確に貼着することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】(a)は本発明のディスク用ラベルの平面図、



(b)はそのL-L側断面図。

【図2】(a)は本発明のディスク用ラベルの平面図、(b)はそのL-L側断面図。

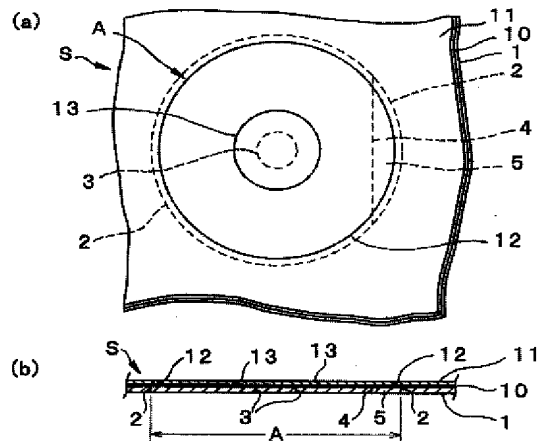
【図3】(a)～(f)は本発明のディスク用ラベルの易剥離シートに形成された切離部の各種形態を説明する平面図。

【図4】(a)～(f)は本発明のディスク用ラベルをディスクに貼着する方法の一例を示す側断面図。

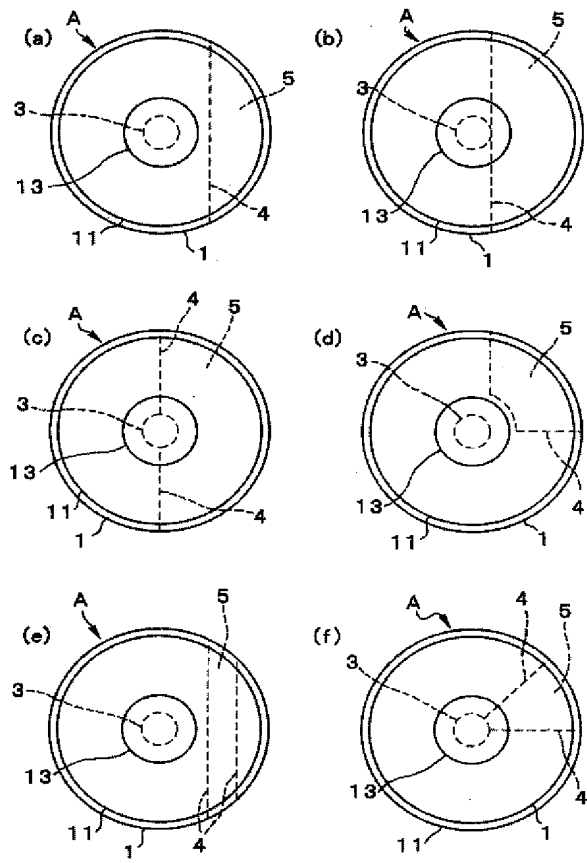
【符号の説明】

- 100 A…ディスク用ラベル S…ラベル基材 D…ディスク
11…易剥離シート 2…易剥離シート側の円形状のカッティング
3…易剥離シート側の中心軸孔形成用カッティング
4…切離カッティング 5…部分剥離部
11…ラベルシート 12…円形状のカッティング
13…円形状のカッティング
14…剥離シート 15…窓孔部 16…中心軸孔
21…ディスク支持板 22…ディスク支軸

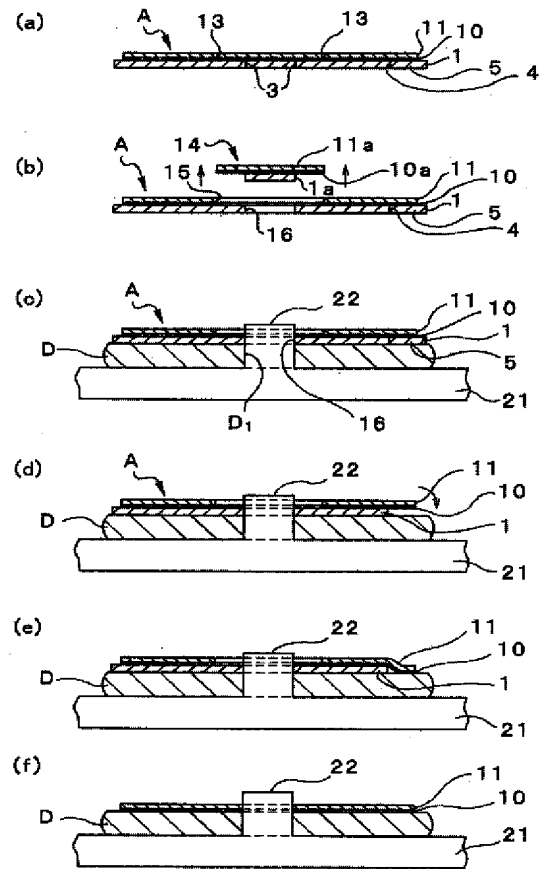
【図2】



【図3】



【図4】



PAT-NO: JP02000195223A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000195223 A
TITLE: LABEL FOR DISK
PUBN-DATE: July 14, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KIRII, TAKANAO	N/A
ITO, YOSHIYUKI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TOPPAN PRINTING CO LTD	N/A
TOPPAN LABEL KK	N/A

APPL-NO: JP10370853
APPL-DATE: December 25, 1998

INT-CL (IPC): G11B023/38 , G11B023/40

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a label for a disk which can be affixed precisely to the disk so as not to deviate from the central position of the disk, while executing alignment more precisely and simple than connectionally without using a label affixing device and a kit for alignment.

SOLUTION: This label for the information recording disk is composed of a circular label sheet 11 being a shape of substantially flush with the plane shape of the circular disk for information recording, a tacky adhesive layer 10 which is disposed on the rear surface thereof and an easy release sheet 1 which is easily releasably and temporally affixed to the tacky adhesive layer 10 and has approximately the same plane shape size as that of the circular label sheet 11 or the large diameter size slightly larger than the same. The easy release sheet 1 is inscribed with a cutting 3 for forming the central shaft hole of the disk. The circular label sheet 11 is inscribed with a circular cutting 13 of the diameter which is larger than the diameter of the cutting 3 for forming the shaft hole.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO